



# 2024年度環境活動レポート

(2024年4月～2025年3月)

2025年12月1日作成  
マツダ中販株式会社

# 目次

0.目次	1ページ
1.組織の概要	2ページ
2.対象範囲	3ページ
3.実施体制	4ページ
4.環境経営方針	5ページ
5.環境経営目標	6ページ
6.環境活動計画	8ページ
7.環境経営目標の実績、年間実績推移	9～12ページ
8.環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	13～15ページ
9.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに 違反、訴訟等の有無	16ページ
10.代表者による全体評価と見直しの結果	17ページ

# 1.組織の概要

## 1) 事業者名及び代表者

マツダ中販株式会社

代表取締役社長 小林 政史

## 2) 本社所在地

広島県広島市南区仁保沖町1番166

## 3) 事業内容

自動車の卸売・修理業

## 4) 事業の規模および対象範囲

拠点数： 本社+3事業所

広島県 本社・西日本営業部

千葉県 東日本営業部

大阪府 西日本営業部

従業員数： 98人（2025年3月）

年間売上高： 42億円（2024年度）

年間中古車取扱台数： 3,896台（2024年度）

年間整備件数： 3,467件（2024年度）

## 5) 環境管理責任者及び担当者

環境管理責任者 執行役員 管理部 部長

川口 俊信

EA21環境推進事務局 管理部 管理Gr リーダー

島本 哲治

監査室

馬渡 功一

TEL： 082-255-0211

## 2.対象範囲

### 1) 対象範囲（認証、登録範囲）

本社・西日本営業部

広島県広島市南区仁保沖町1番166

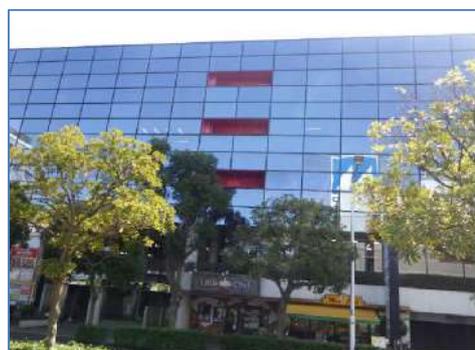
TEL:082-255-0211



東日本営業部

千葉県千葉市美浜区高洲3丁目14-1 和紅ビル5F

TEL:043-303-5563



西日本営業部

大阪府枚方市長尾峠町10番1号

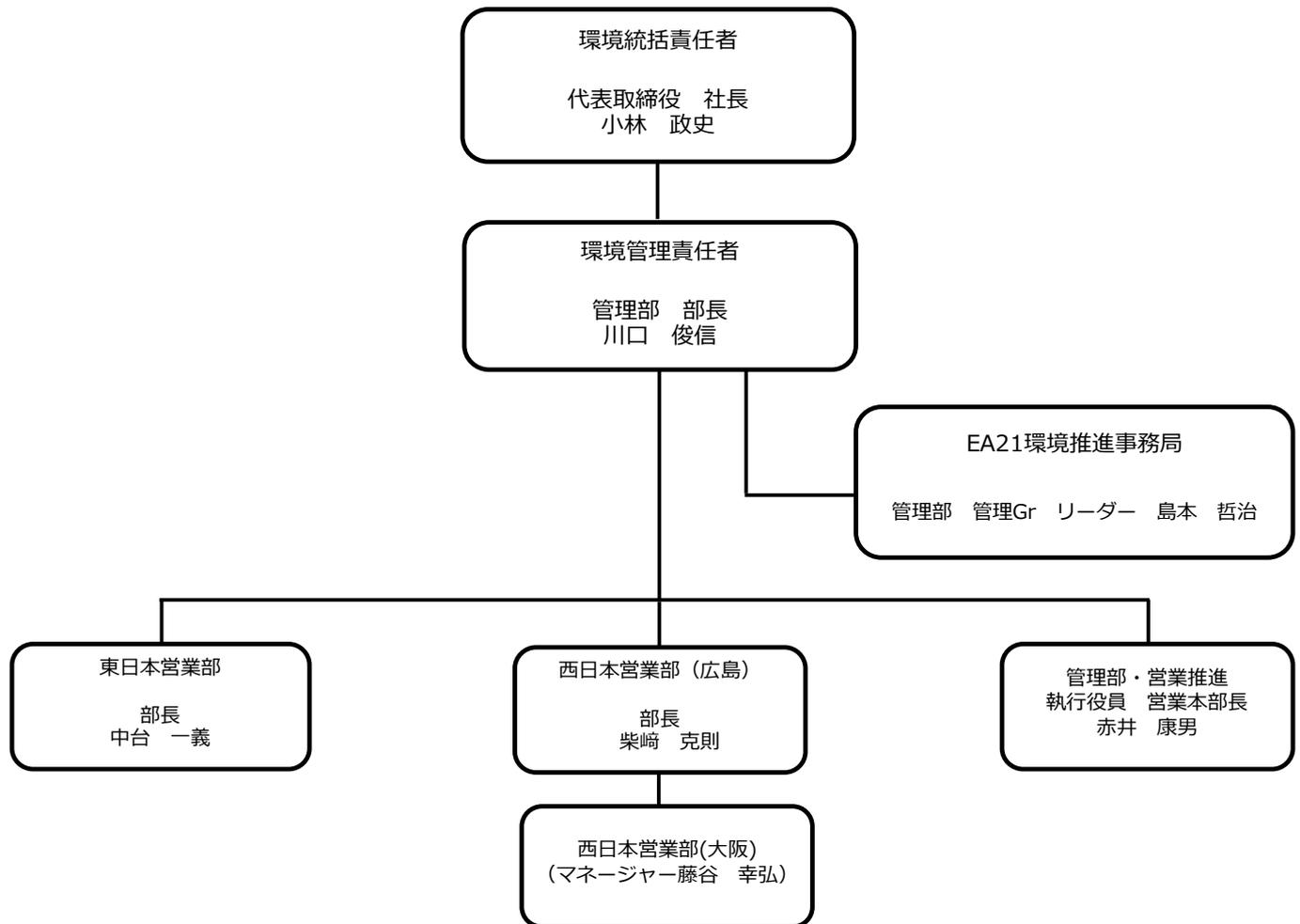
TEL : 072-867-0088



### 2) 対象期間

2024年4月1日～2025年3月31日

### 3.実施体制



#### <役割>

環境統括責任者 <代表者>	環境マネジメントシステム（以下EMS）に関する統括責任者 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ EMSの実施及び運用に必要な人・設備・費用・時間を用意</li> <li>・ 環境管理責任者の任命</li> <li>・ 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li> <li>・ 環境目標の設定を承認</li> <li>・ 代表者による全体の評価と見直しを実施</li> <li>・ 経営における課題とチャンスの明確化</li> <li>・ 環境活動レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者 <役員・管理/サービス部門長>	実務上の責任者として、全社の環境取り組みを推進する ※代表者は、環境活動の実務に関して全部門に対する指揮命令権限を委譲 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ EMSの構築、実施、管理</li> <li>・ 環境活動計画書、環境関連法令取りまとめリスト等の承認</li> <li>・ 環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>・ 環境活動レポートの確認</li> </ul>
EA21推進事務局 環境推進担当者	環境管理責任者をサポートし、EA21推進事務局として全社の環境取組を推進する <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各拠点の環境取り組みの指導・支援</li> <li>・ 環境データの集計・取りまとめ</li> </ul>
部門長、営業部長	担当事業部内の店舗の環境取組の推進および進捗管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 担当部門の環境取り組みの責任者</li> </ul>

## 4.環境経営方針

### <基本理念>

マツダ中販株式会社は、自動車販売・自動車整備などの全ての事業活動において、自然との調和を図りながら、地球環境の保護と豊かな社会づくりに貢献します。

### <行動指針>

1. 環境に関する法規制を遵守します。
2. 限りある資源を大切にするため、事業所における電力使用量、水使用量、ガソリン・軽油・灯油、ガス使用量の削減に努めます。
3. 中古車を再生・流通することを通して資源の有効活用及び環境負荷低減を目指します。
4. 循環型社会に向けて、廃棄物の削減・再使用・再利用活動を推進します。
5. 事業活動が環境に与える影響を正しく認識し、改善目標を定め、継続的な環境改善活動を実践します。
6. 販売会社への支援を通じ、間接的な環境負荷の低減に努めます。
7. 全従業員にこの環境方針を周知徹底するとともに、環境活動レポートを作成し、公表します。

制定 2010年 4月 1日

改訂 令和 6年 6月 19日

マツダ中販株式会社

代表取締役 社長 小林 政史

## 5.環境経営目標

### 1) 環境負荷の現状

項目	単位	2023年度
二酸化炭素排出量 *1	kg-CO2	208,968
電力使用量	kWh	258,169
ガソリン、軽油、灯油使用量	L	20,850
LPG使用量	m <sup>3</sup>	1,637
産業廃棄物排出量*2	kg	15,794
一般廃棄物（紙購入量 *3）	kg	1,582
水使用量	m <sup>3</sup>	3,007
環境対応車の取扱い台数*4	台	5,207
化学物質使用量(取扱量)	kg	656

\*1 電力の二酸化炭素排出係数は、電気事業者別排出係数平成26年度実績の代替値 0.579kg-co2/kWhとしています。

\*2 産業廃棄物の排出量は有価で売却した廃棄物を除いています。

\*3 一般廃棄物の排出量は実績を把握していないため紙購入量にて評価しています。

\*4 環境対応車の定義はマツダのスカイアクティブ車としています。

### 2) 環境目標（2024年度目標は、2021年度実績を元にしてしています）

項目	単位	2021年度実績 (基準年度)	目標		
			2022年	2023年	2024年
二酸化炭素排出量 (削減率)	kg-co2	233,358	231,024 △1%	228,691 △2%	226,357 △3%
電力使用量 (削減率)	kWh	313,346	310,213 △1%	307,079 △2%	303,946 △3%
ガソリン、軽油、灯油使用量 (削減率)	L	14,352	14,208 △1%	14,065 △2%	13,921 △3%
LPG使用量 (削減率)	m <sup>3</sup>	2,878	2,849 △1%	2,820 △2%	2,792 △3%
産業廃棄物排出量 (削減率)	kg	15,339	15,186 △1%	15,032 △2%	14,879 △3%
水使用量*1 (削減率)	m <sup>3</sup>	*1,804	1,786 △1%	1,768 △2%	1,750 △3%
一般廃棄物（紙購入量） (削減率)	kg	1,448	1,434 △1%	1,419 △2%	1,405 △3%
環境対応車の取扱い台数 (増加率)	台数	3,118	3,212 3%	3,243 4%	3,274 5%
化学物質使用量(取扱量) (削減率)	kg	977	967 △1%	957 △2%	948 △3%
販売会社での評価書発行数*2 (増加率)	枚				16,000

\*1 2021年度水使用量は漏水の為増加しているため、基準実績として2020の実績値を用いる。

\*2 評価書発行枚数は2024年度事業計画に基づく目標数字

### 3) 環境目標 (2025年度以降)

項目	単位	2024年度実績 (基準年度)	目標		
			2025	2026	2027
二酸化炭素排出量 (削減率)	kg-co2	195,992	194,032 △1%	192,072 △2%	190,112 △3%
電力使用量 (削減率)	kWh	253,118	250,587 △1%	248,056 △2%	245,524 △3%
ガソリン、軽油、灯油使用量 (削減率)	L	16,361	16,197 △1%	16,034 △2%	15,870 △3%
LPG使用量 (削減率)	m <sup>3</sup>	1,683	1,666 △1%	1,649 △2%	1,633 △3%
産業廃棄物排出量 (削減率)	kg	10,560	10,454 △1%	10,349 △2%	10,243 △3%
水使用量 (削減率)	m <sup>3</sup>	975	965 △1%	956 △2%	946 △3%
一般廃棄物(紙購入量) (削減率)	kg	1,423	1,409 △1%	1,395 △2%	1,380 △3%
化学物質使用量(取扱量) (削減率)	kg	739	732 △1%	724 △2%	717 △3%
販売会社での評価書発行数* (増加率)	枚	20,284	21,298 5%	22,312 10%	23,327 15%

※評価書発行枚数については経営計画の数値を採用

## 6.環境活動計画

### 1) 二酸化炭素排出量の削減

#### ① 電力使用量の削減

- 事務所・工場の照明消灯を適宜行う
- 昼休みの事務所、工場の消灯を行う
- 使用時以外のトイレ・会議室・給湯室・更衣室・部品庫等の消灯確認を行なう  
(お客様が出入りされる箇所は除く)
- 工場エアコンプレッサーの休憩時間および夜間電源OFF
- 自動販売機の照明を消す
- 正しい労働時間の管理(終業後の居残りをなくすために帰宅を促す)
- 冷暖房の設定温度を段階的に設定・管理を行う(極力使用しない、使用時は温度設定管理を行う)
- 複数のエアコンを一気に起動せずに起動タイミングをずらす。
- 冷暖房フィルターを適宜清掃する
- パソコンモニタ輝度を一段階下げる。(適正な光度に)
- パソコン利用者は休憩時間、長時間離席するときにスリープモードにする。
- クールビズの実施(期間 5/1～10/31)

#### ② 燃料使用量の削減

- エコドライブ10のすすめを実践する
- 社用車のタイヤ空気圧をチェックする
- 不要な荷物が積まれていないかチェックする
- 商品車への燃料補充量の確認

#### ③ LPG使用量の削減

- 使用量の公開を行い、使用量削減に対する意識付けを行う。

### 2) 一般廃棄物、産業廃棄物排出量の削減および適正管理

- 両面コピー・縮小コピーの徹底
- 使用済みやミスコピー用紙の裏面使用の徹底
- 産業廃棄物排出量の把握
- 産業廃棄物の分別および適正処理
- 会議資料はデータでの配布を推奨する。

### 3) 水使用量の削減

- 漏水点検の実施およびメーター異常値のチェック

### 4) 化学物質の削減および適正管理

- 化学物質使用量(取扱量)の管理および削減に努める

### 5) 製品及びサービスにおける環境配慮

- 環境対応車(スカイアクティブ車)販売意識向上に努める
- 販売会社での評価書発行を促すための各種施策、支援を実施

## 7.環境経営目標の実績

### 1. 2024年度の実績

項目	単位	目標（年間）	実績（年間）	目標達成率	評価(注)
二酸化炭素排出量 *1	kg-CO2	226,357	195,992	115.5%	◎
電力使用量	kWh	303,946	253,118	120.1%	◎
ガソリン、軽油、灯油使用量	L	13,921	16,361	85.1%	×
LPG使用量	m <sup>3</sup>	2,792	1,683	165.9%	◎
産業廃棄物排出量*2	kg	14,879	10,560	140.9%	◎
一般廃棄物（紙購入量 *3）	kg	1,405	1,423	98.8%	△
水使用量	m <sup>3</sup>	1,750	975	179.5%	◎
環境対応車の取扱い台数*4	台	3,274	3,264	99.7%	△
化学物質使用量(取扱量)	kg	948	739	128.3%	◎
販社評価書発行枚数	枚	16,000	20,284	126.8%	◎

(注) 評価記号 ◎・・・達成率110%以上 ○・・・達成率100%以上110%未満  
△・・・達成95%以上100%未満 ×・・・達成率95%未満

\*1 電力の二酸化炭素排出係数は、電気事業者別排出係数の平成26年度実績の代替値0.579kg-co2/kWh

\*2 産業廃棄物の排出量は有価で売却した廃棄物を除いています。

\*3 一般廃棄物の排出量は実績を把握していないため紙購入量にて評価しています。

\*4 環境対応車の定義はマツダのスカイアクティブ車としています。

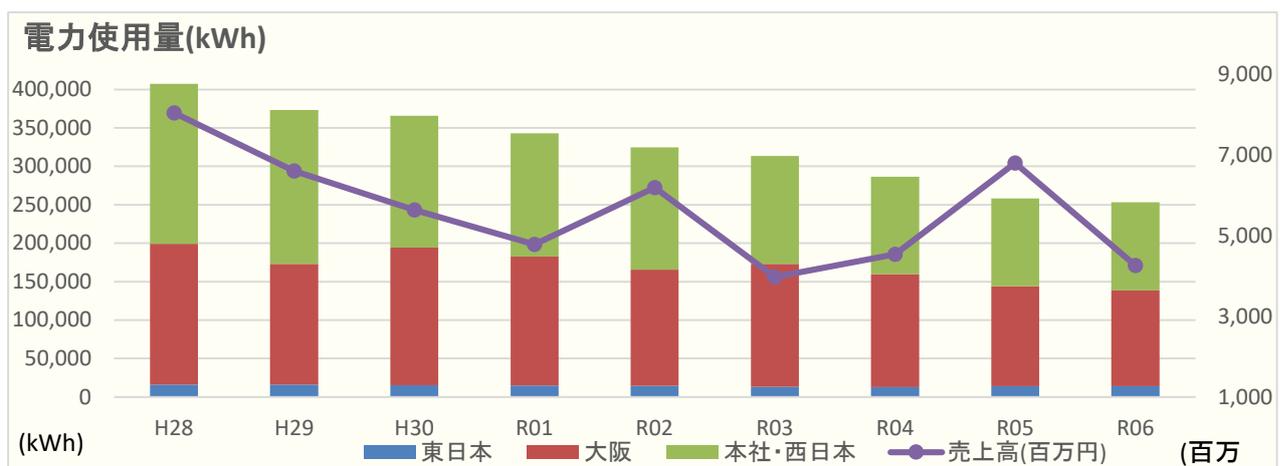
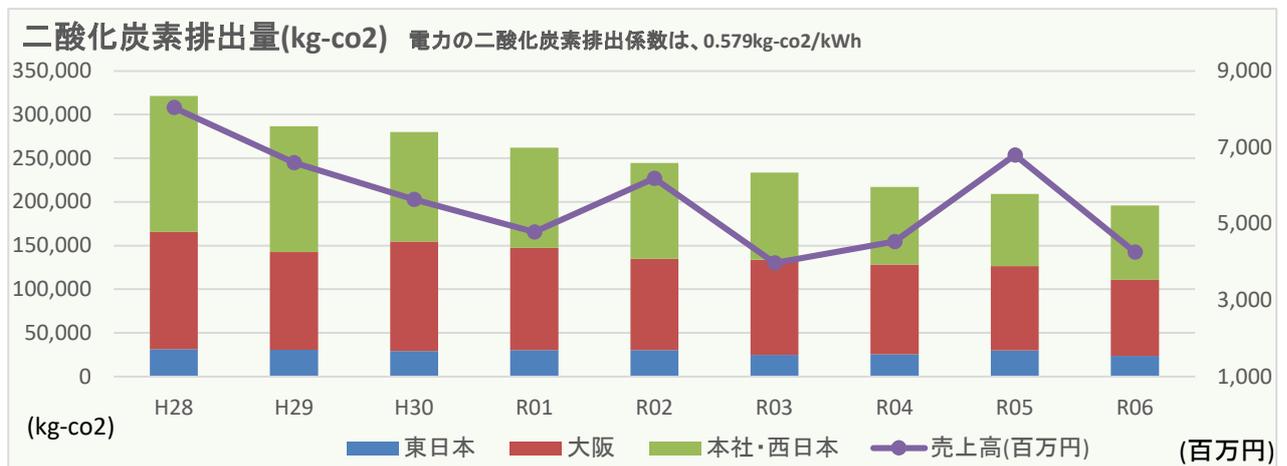
# 7.環境経営目標の年間実績推移

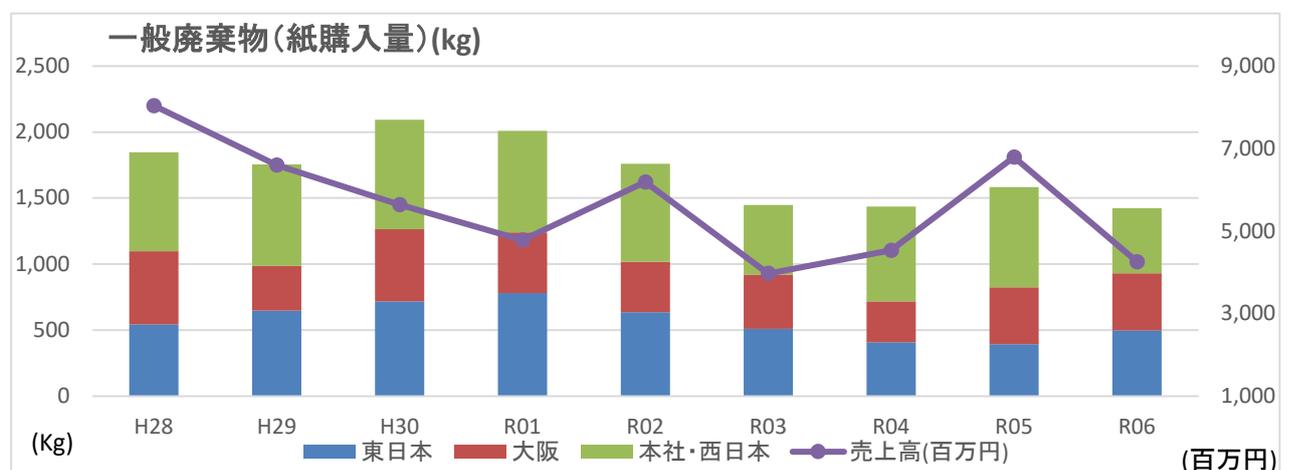
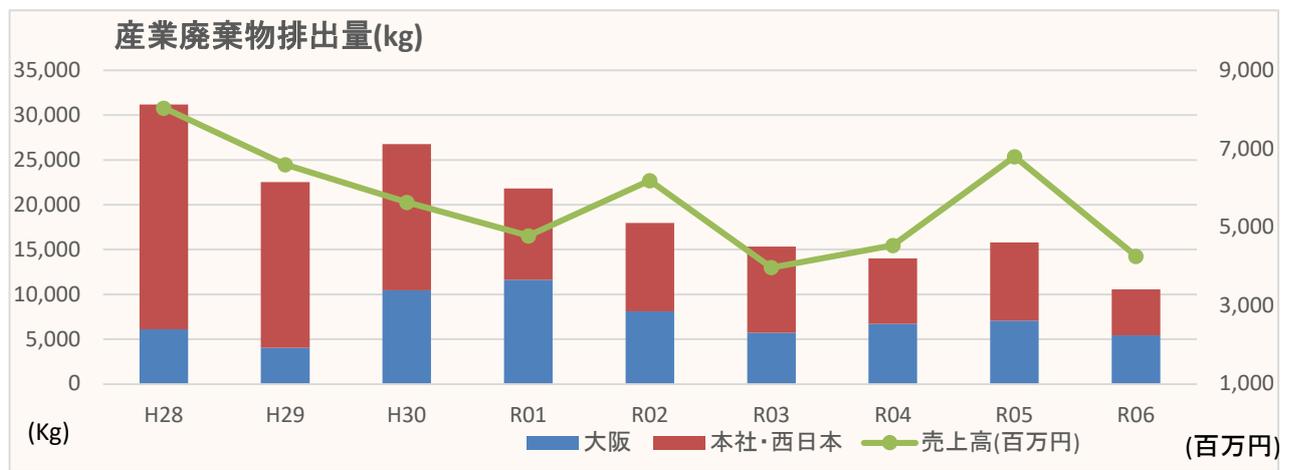
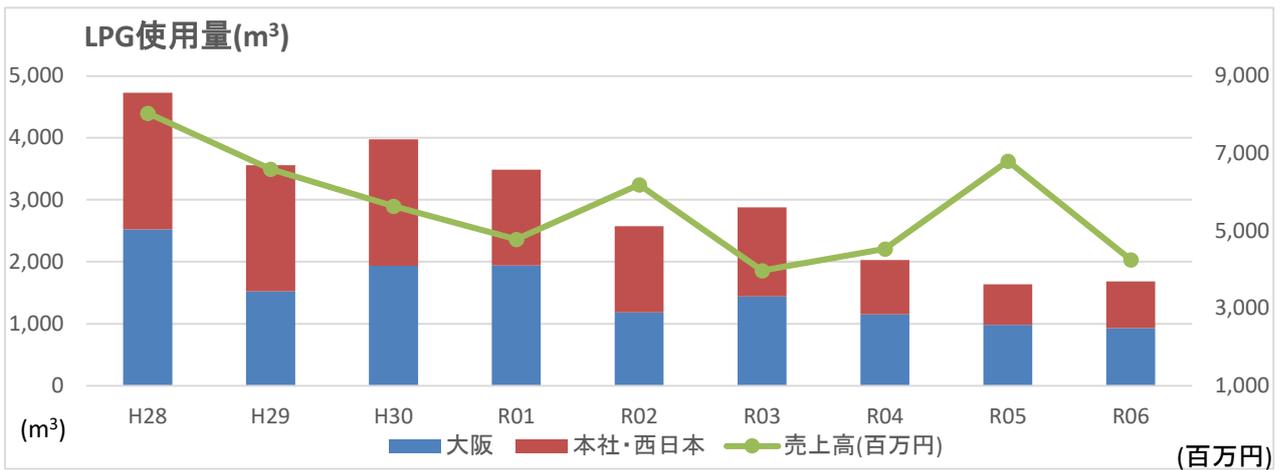
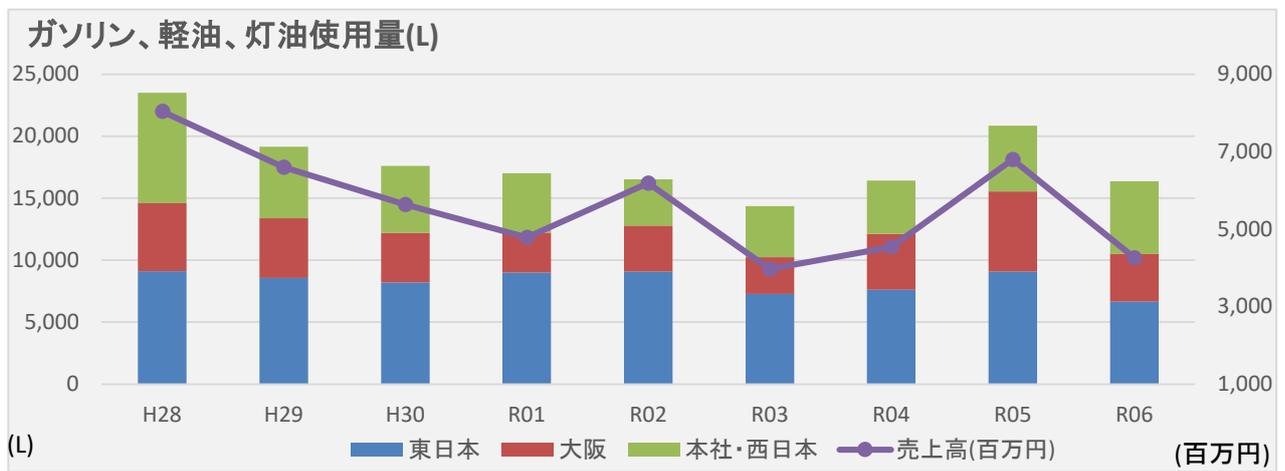
## 1. 実績の推移

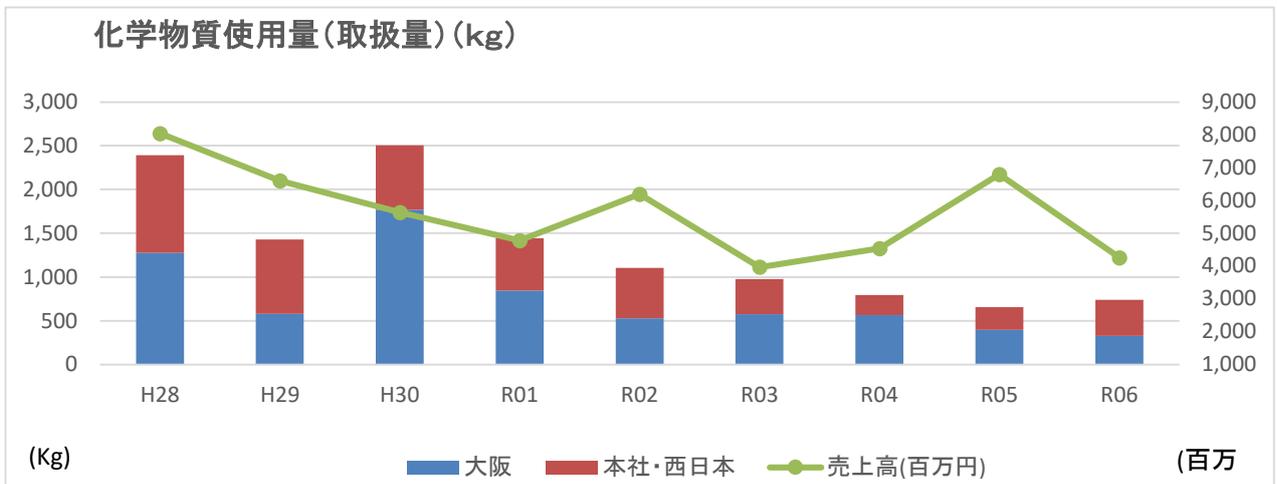
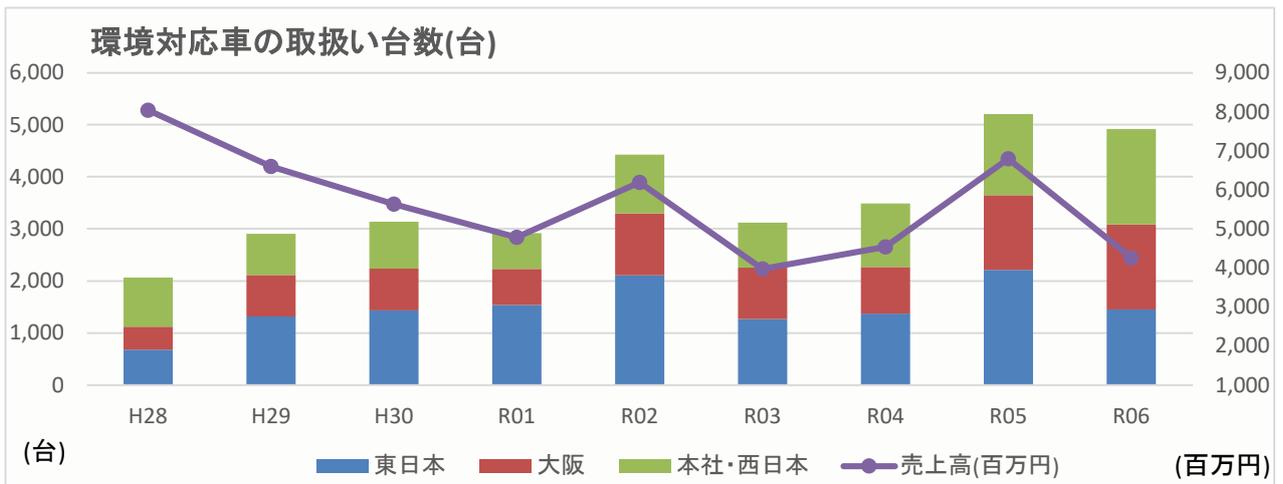
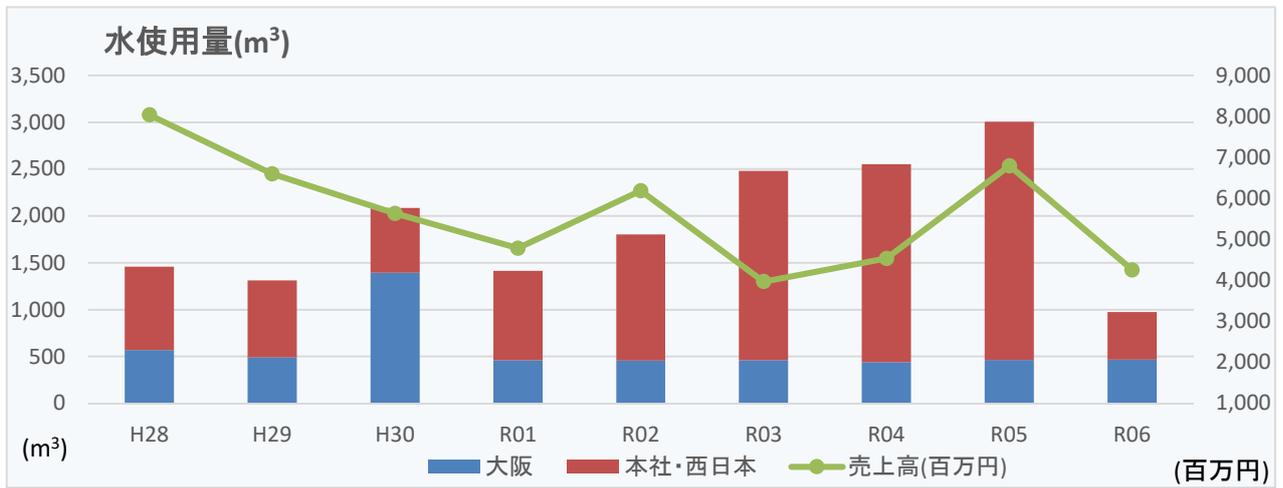
項目	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06
二酸化炭素排出量(kg-CO2)*1	321,350	286,462	280,136	262,130	244,669	233,358	217,080	208,968	195,992
電力使用量(kWh)	407,422	373,181	365,948	343,167	324,777	313,346	286,324	258,169	253,118
ガソリン、軽油、灯油使用量(L)	23,496	19,154	17,589	17,004	16,522	14,352	16,420	20,850	16,362
LPG使用量(m3)	4,726	3,558	3,978	3,484	2,577	2,878	2,029	1,637	1,682
産業廃棄物排出量(kg)	31,200	22,525	26,768	21,804	17,982	15,339	14,020	15,794	10,560
一般廃棄物(紙購入量)(kg)	1,846	1,756	2,094	2,008	1,760	1,448	1,436	1,582	1,423
水使用量(m3)	1,458	1,314	2,085	1,416	1,804	2,481	2,554	3,007	975
環境対応車の取扱い台数(台)	2,065	2,902	3,140	2,918	4,425	3,118	3,487	5,207	4,916
化学物質使用量(取扱量)(kg)	2,393	1,427	2,504	1,443	1,104	977	796	656	739
年間売上高(百万円)	8,040	6,599	5,638	4,783	6,190	3,973	4,536	6,797	4,257

\*1 電力の二酸化炭素排出係数は事業者別排出係数の平成26年度実績の代替値0.579kg-co2/kWhを用いて算出しております。

\*業績と環境への負荷の関係性を比較しやすくするため下記の各グラフに年間売上高を表示しています。







## 8.環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

### 1) 二酸化炭素排出量の削減

#### <取組結果とその評価>

- ・二酸化炭素排出量は目標達成し、排出量削減できた。

#### <次年度の取組>

- ・定着した削減取り組みを引き続き継続しつつ新たな取り組みも検討する。

### ① 電力使用量の削減

#### <取組結果とその評価>

- ・節電意識が社内で浸透し事務所、工場等の使用しない箇所あるいは時間外の消灯は定着している。

#### <次年度の取組>

- ・引き続き休憩時間中などの不要な電源の確認など、見回り活動を行う。
- ・労働時間を正しく管理し、終業後は早々に帰宅する意識を高め、節電取り組みを実施する。
- ・電気使用機械の適切な管理・更新を検討する。

### ② 燃料使用量の削減

#### <取組結果とその評価>

- ・販売量減少などの影響で出張検査が減り前年より減ったが目標達成しなかった
- ・商品車への燃料補充量は決められた数量を守られている。

#### <次年度の取組>

- ・社用車の利用に際して社員各自のエコドライブ意識を向上させる取り組みを継続する。
- ・急発進、急停車、走行時速に関して注意喚起を行う。
- ・販社様で自社検査できるように、研修、資格取得を促す。
- ・マツダ(株)の主催する人馬一体研修を活用し適切な運転技術を習得し、燃費向上を目指す。
- ・REVの社用車を検討する

### ③ LPG使用量の削減

#### <取組結果とその評価>

- ・昨年より入庫台数が減ったが重補修車両の比率が多く前年並みとなった、目標は達成した
- ・自然乾燥、ブースを有効活用(一括乾燥等)し、ガスの利用料削減に努めた

#### <次年度の取組>

- ・ガス使用量に注意を把握し、削減に努める。

## 2) 一般廃棄物、産業廃棄物排出量の削減および適正管理

### ① 産業廃棄物排出量の削減

<取組結果とその評価>

- ・ 不要品が蓄積して一括廃棄したため、廃棄物量が増加した。
- ・ 産業廃棄物のリサイクル推進および管理は周知徹底できている。

<次年度の取組>

- ・ 産業廃棄物（バッテリー、廃油、金属）のリサイクル推進を行い、適正に管理を継続する。
- ・ 使用できる部品は修復、再利用する。



タイヤホイール修復作業風景

### ② 一般廃棄物排出量の削減（紙購入量の削減）

<取組結果とその評価>

- ・ ミスコピーの削減や、両面、集約印刷の徹底などにより購入力は削減した。
- ・ 裏面使用の徹底、両面コピーは定着している。

<次年度の取組>

- ・ ペーパーレスを推進し使用量の削減を目指す
- ・ 一般廃棄物（紙使用量）に対する取り組みは昨年と同様に引き続き継続する。

### 3) 水使用量の削減

<取組結果とその評価>

- ・ 広島で温水器より工水の漏水があり増加した。

<次年度の取組>

- ・ 洗車時の節水を心がけて、使用量の削減取組を行う。
- ・ 定期的な漏水点検、使用量の注意喚起など、節水意識を向上する取り組みを行う。
- ・ 商品在庫回転を早くすることで洗車頻度を減らす。

#### 4) 化学物質の削減および適正管理

##### <取組結果とその評価>

シンナー再生機の故障により使用量が増加した

##### <次年度の取組>

- ・より適切な溶剤を使用するように調査していく。
- ・SDSの適切な管理を行い、安全な取り扱いを徹底する。
- ・シンナー再生機の購入を検討する

#### 5) 製品及びサービスにおける環境配慮（環境対応車の取扱い台数）

##### <取組結果とその評価>

- ・認証不正問題等の影響により取扱い台数が減少した。

##### <次年度の取組>

- ・引き続き環境対応車の販売台数向上を目指す。
- ・安易にグループ外流出や廃車にまわさず、できるだけ再生、再流通させる

#### 6) その他

##### <取組結果とその評価>

- ・会社周辺の清掃美化活動を本社・西日本営業部（広島）では毎月月初に実施した。

##### <次年度の取組>

- ・引き続き会社周辺の清掃美化活動を継続して実施する。

次年度の環境経営目標はP6のとおりで、

次年度の環境経営計画はP12～14の次年度の取組内容のとおり

## 9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

### 1. 環境関連法規等の遵守状況

環境関連法規	要求事項	確認方法	適用事業所	遵守状況	評価
廃棄物処理法	・ 廃棄物の適正管理および処理 ・ マニフェスト管理	契約書類 許可証 マニフェスト伝票	・ 大阪 ・ 広島 ・ 千葉	適合	○
自動車リサイクル法	・ 使用済自動車の適正処理	自動車リサイクルシステムによる届出、管理	・ 大阪 ・ 広島	届出済 適合	○
PRTR法	・ 特定化学物質の排出量/移動量の把握 ※1 中日本営業部は届出対象事業所	届出書類 管理データ	・ 大阪 ・ 広島	届出済	○
下水道法	・ 特定施設の届出 (自動車分解整備事業の用に供する洗車施設 屋内作業場の総面積が800㎡以上の事業場)	届出書類	・ 大阪	届出済	○
浄化槽法	・ 浄化槽設置の届出 ・ 法定点検・保守点検・清掃記録	届出書類 点検、記録書類	・ 広島	届出済 適合	○
水質汚濁防止法	・ 自動洗車場の届出	届出	・ 大阪	届出済	○
騒音規制法	・ 特定施設の届出 (コンプレッサー、グラインダー)	届出書類 点検、記録書類	・ 大阪 ・ 広島	届出済 適合	○
振動規制法	・ 特定施設の届出 (コンプレッサー)	届出書類	・ 大阪 ・ 広島	届出済	○
消防法 ※2	・ 防火管理者選任の届出 ・ 少量危険物(貯蔵所・取扱所)の届出 ・ 危険物(貯蔵所・取扱所)の許可	届出書類	・ 千葉 ・ 大阪 ・ 広島	届出済	○
フロン排出抑制法	・ 適切な場所への設置 ・ 機器の点検、記録の保存 ・ 漏えい防止措置、修理しないままの充填の 原則禁止	点検、記録書類	・ 大阪 ・ 広島	適合	○

※1 PRTR法に関しては、広島は第1種指定化学物質の年間取扱量1t未満のため届出対象外。

大阪は大阪府条例に基づく大阪府化学物質管理制度の届出制度の内

「揮発性有機化合物(VOC)に該当する物質の年間取扱量の総量が1トン以上」に該当するため届出を実施。

※2 東日本営業部は乙種防火管理者の選任のみ。(危険物の取扱いはありません)

### 2. 違反・訴訟の有無

環境関連法規の違反はなく、関係機関からの指摘も受けておりません。

また、同様に訴訟等についても、1件もありませんでした。

## 10.代表者による全体評価と見直しの結果

評価者		代表取締役 小林 政史	
全体評価・コメント（環境経営システムへの有効性・環境への取組の適切性等）			
<p>メーカーの認証不正問題や、CX-8生産終了後CX-80発売開始までの空白期間が想定以上に長引いた影響で、FY24マツダGr.新車販売は151.7千台(前年比95%)と低迷。その影響から下取り車も減少しGr.全体で中古車在庫が枯渇する事態へ。当社の取扱い台数も前年比約7割レベルにまで激減。当社の環境経営に最も影響の大きい商品化台数が減ったことが環境目標達成に寄与している側面があることは否定できないが、営業活動、販社支援活動そのものは頻度・工数を維持したうえでの結果であることも踏まえ、環境経営システムの有効性は十分に確認できたものと判断する。</p> <p>マツダ中古車の再流通(できるだけ長く乗る)ことが、マツダGr.のビジネス成果のみならず環境経営にも貢献できるものとして、来年度も取扱い台数増に取組んでいきたい。</p>			
代表者による全体評価・見直し	見直し項目	変更の必要性	変更「有」の場合の指示事項
	1 環境方針	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	2 環境目標	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	普及が進んだ環境対応車は次年度の目標から外してください。
	3 環境活動計画・取組項目	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	電気自動車の普及が進んでいます。活動の取組として検討してください。また業務効率化の一環としてペーパーレスの推進にも取り組んでください
	4 環境に関する組織	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	5 その他のシステム要素	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	6 その他（外部への対応）	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	